

動物用医薬品 鎮静・鎮痛注射剤

劇 **メドトミン注「Meiji」**

Medetomin Injection Meiji

犬猫用

本剤1mL中 メドトミジン塩酸塩1.0mg



使いやすい
★

プラスチックボトル採用



メドトミン注「Meiji」はイミダゾール系の鎮静・鎮痛注射剤です。本剤の主成分であるメドトミジン塩酸塩は、強力で選択性の高い α_2 -アドレナリン受容体作動薬です。犬・猫に対して、筋弛緩を伴った鎮静・鎮痛作用を示します。

動物用医薬品 メドトミン注拮抗注射剤

メパチア注「Meiji」

Mepatia Injection Meiji

犬猫用

本剤1mL中 アチパメゾール塩酸塩5.0mg



使いやすい
★

プラスチックボトル採用



メパチア注「Meiji」はメドトミン注「Meiji」(成分:メドトミジン塩酸塩)の拮抗注射剤です。主成分であるアチパメゾール塩酸塩は、強力で選択性の高い α_2 -アドレナリン受容体拮抗薬です。メドトミン注「Meiji」により鎮静状態となり横臥している犬・猫を正常状態に回復させます。

劇メデトミン注「Meiji」

Drug Information

Medetomin Injection Meiji

【成分及び分量】

本剤 1mL 中
メデトミン塩酸塩 …………… 1.0mg

【効能又は効果】

犬：鎮静・鎮痛
猫：鎮静・鎮痛

【用法及び用量】

通常、体重 1kg 当たり下記量を筋肉内注射する。

犬：10～20 μ g：軽～中等度の鎮静
20～80 μ g：中等度～深い鎮静・鎮痛
猫：50～80 μ g：中等度の鎮静・鎮痛
80～150 μ g：深い鎮静・鎮痛

【使用上の注意】

一般的注意

- (1) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3) 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

使用者に対する注意

- (1) 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- (2) 本剤は経皮吸収されるため、本剤が使用者の皮膚に付いた時は、十分な水で洗い流すこと。

犬及び猫に対する注意

1 制限事項

- (1) 妊娠動物に投与した場合の十分な検討はなされていないので、妊娠動物への投与を避けること。
- (2) アトロピン等の抗コリン作用薬と併用すると一時的な血圧の過剰な上昇と心臓への大きな負荷が認められるので、併用は避けること。
- (3) 循環器系の疾患のある動物或いは一般状態の悪い動物に対しては、慎重に投与すること。

2 副作用

- (1) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2) 投与後嘔吐することがあり、猫では回復時にも嘔吐が認められることがある。
- (3) 投薬により体温の低下が認められるので、動物の保温に努めること。
- (4) 投薬後心拍数、呼吸数の低下がみられる。また、心電図において房室ブロックが認められることがある。
- (5) 投薬後一時的に血圧が上昇するが、その後正常値付近に回復する。
- (6) 回復時に排尿がみられることがある。
- (7) 投与時に疼痛が認められることがある。
- (8) 四肢の筋で軽い震えがみられることがある。
- (9) 過剰投与した場合は、アチバメゾール塩酸塩等の α_2 -アドレナリン受容体拮抗薬を投与すること。

3 相互作用

犬でケタミンとの併用により、中枢神経症状（カタレプシー、痙攣、鎮静及び覚醒遅延等）が認められることがある。

4 適用上の注意

- (1) 本剤には他の医薬品等を加えないこと。
- (2) 全身麻酔剤との併用を行う場合にあっては、患畜の脈拍、呼吸及び体温等の生命徴候を監視するなど十分全身状態の観察を行うことが望ましい。
- (3) 本剤を筋肉内注射する場合は、注射針を刺入したとき疼痛を訴えたり、血液の逆流をみた場合は直ちに針を抜き、部位を変えて注射すること。注射液が多い場合又は連続投与する場合は、投与部位を変えて投与すること。
- (4) 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- (5) 注射針は必ず 1 頭ごとに取りかえること。

取扱い上の注意

- (1) 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- (2) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (3) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (4) 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。
- (5) 本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。

保管上の注意

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。

その他の注意

- (1) 投与前に絶食させるのが望ましい。
- (2) 外国において、ごくまれに（0.001%）肺水腫が認められた例が報告されている。

【貯蔵方法】

気密容器

【有効期間】

36カ月

【使用の期限】

ラベル・個箱に記載

【包装】

10mL プラスチックボトル



メパチア注「Meiji」

Drug Information

Mepatia Injection Meiji

【成分及び分量】

本剤 1mL 中
アチバメゾール塩酸塩 …………… 5.0mg

【効能又は効果】

犬：メデトミン塩酸塩の作用からの復帰
猫：メデトミン塩酸塩の作用からの復帰

【用法及び用量】

通常、犬におけるメデトミン塩酸塩の作用からの復帰にはアチバメゾール塩酸塩として体重 1kg 当たり 40～480 μ g（メデトミン塩酸塩の投与量の 4～6 倍量）を筋肉内注射し、猫におけるメデトミン塩酸塩からの作用の復帰にはアチバメゾール塩酸塩として体重 1kg 当たり 100～600 μ g（メデトミン塩酸塩の投与量の 2～4 倍量）を筋肉内注射する。

【使用上の注意】

一般的注意

- (1) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3) 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

使用者に対する注意

- (1) 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- (2) 本剤は経皮吸収されるため、本剤が使用者の皮膚に付いた時は、十分な水で洗い流すこと。

犬及び猫に対する注意

1 制限事項

- (1) 妊娠動物に投与した場合の十分な検討はなされていないので、妊娠動物への投与を避けること。

2 副作用

- (1) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2) 投与後一時的に血圧が下降するが、その後正常値付近に回復する。
- (3) 過剰投与した場合には、一時的な軽い興奮、頻脈或いは振戦がみられることがある。

3 適用上の注意

- (1) 本剤には他の医薬品等を加えないこと。

- (2) 本剤を筋肉内注射する場合は、注射針を刺入したときに疼痛を訴えたり、血液の逆流をみた場合には直ちに針を抜き、部位を変えて注射すること。
- (3) 注射液が多い場合又は連続投与する場合は、投与部位を変えて投与すること。
- (4) 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- (5) 注射針は必ず 1 頭ごとに取りかえること。
- (6) 投薬前に絶食させることが望ましい。

取扱い上の注意

- (1) 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- (2) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (3) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (4) 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。
- (5) 本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。

保管上の注意

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。

【貯蔵方法】

気密容器

【有効期間】

36カ月

【使用の期限】

ラベル・個箱に記載

【包装】

10mL プラスチックボトル



※本資料は製品の情報等を提供する資料です。使用の際は製品の添付文書をよくお読みください。※メデトミン、メパチアはフジタ製薬株式会社の登録商標です。